

第七号

風 知 草



《発行》新津西部コミュニティ推進協議会

《発行日》平成23年 9月 1日

あなたの組の1次避難場所と町内防災本部



新栄町の防災訓練 (安否確認)



新会長
蓮沼 美宣

ご挨拶

地域の皆様、今年度から会長役を務める蓮沼です。前会長の斉藤一保様同様に宜しくお願ひいたします。

三月十一日に発生しました東日本大震災におきまして、お亡くなられた皆様のご冥福と被害を受けられた多くの皆様の早期復興を心よりお祈り申し上げます。

この大震災は新津地区の揺れが5強であり、大きな被害はないものの、揺れが長く続き恐ろしく感じました。その後、テレビ等で津波警報が発動され、その悲惨な映像が流れました。今も続く被災生活を見ると、地域の人達の助け合い、協力し合い、励まし合い等、地域力の大切さを考えさせられます。

新津西部コミ協は発足して五年目を迎え、単協としての事業がなかなか出来ませんが、災害時のみならず毎日の暮らしで、明るく、安全で、犯罪のない地域づくりを目指してゆきたいと思ひます。今後ともコミ協事業のご理解とご協力、ご支援を宜しくお願ひいたします。

いっしょに考えませんか



キーワードは

防災

「自助」「共助」「公助」

共助

～具体的な取り組みをしている
新栄町町内会～

◆新栄町の防災の取り組みについて

新栄町も高齢化が進み独り暮らし世帯がふえ、5年前に町内の実情を知るためにアンケート調査を実施したところ、日常的に不安を抱えている人達が多くいるのに驚き「安心、安全に町づくり」対策に取り組みました。

「組単位の絆」を強めることを目指し、4年前に組単位の安否確認表と一次避難場所の図面入りのファイルを作成、各戸配布し、毎年組単位で安否確認訓練と組会議を実施しています。今年は「防災の手引き」を作成し配布。組会議でも組内の弱者を具体的に誰が支えるかまで踏み込んだ内容を話し合いの柱にすえました。困難な点、課題は山積ですが少しづつでも成果は感じられます。今後ともこれまでの実践を踏まえてやれるところから取り組んでいきたいものです。

公助

～秋葉区総務課安心安全係で
お話を伺いました～

◆自助・共助・公助について

みなさんが、安全安心にくらすためには、災害が発生した時に、被害を最小限に抑えることが大切です。

⇒「減災」

そのためには、

- ・自分や家族などの家庭での対策 ⇒「自助」
- ・自治会や町内会などの地域での対策 ⇒「共助」
- ・市町村や県、国などの行政での対策 ⇒「公助」

阪神・淡路大震災の経験から、必ずしも警察や消防などの行政機関は、災害発生直後から救出などに行けるとは限りません。したがって、地域や家庭でも災害に備えて対策を行うことが大切です。

「自助」「共助」「公助」それぞれが協力し合いながら、災害に立ち向かうことが被害の軽減につながります。

防災の手引き

●新栄町防災会作成

◆地震がおきたらどうする？

- 1 机やテーブルの下にもぐる
- 2 揺れの小さいうちにドアをあけて出口を確保する
- 3 火が出たら消火器で消す
- 4 電気のブレーカーを切る
- 5 組の「1次避難所へ」



◆やっていますか？防災対策

◎家具の転倒防止対策

◎非常持ち出し品の準備

懐中電灯・携帯ラジオ・非常食・水・救急医薬品など

◎避難場所の確認

自助

◆我家の取り組み

今年3月に起きた東日本大震災、今まで思ってもやらなかった我家でも真剣に取り組むようになった。

懐中電灯、乾電池、飲み水からカセットコンロなどスーパーで売り切れる物は必要な物として一通り買い集めました。中越地震を体験した親戚から風呂の残り湯は使えるから大切にしないとわれ、今でも夕方に風呂そうじ終わりしだい風呂のお湯をわかつようにし災害に備えています。

「備えあれば憂いなしです」



◆秋葉区役所 **23 - 1000**

◆秋葉警察署 **23 - 0110**

◆秋葉消防署 **22 - 0175**

み～んな～集まれ～!

西部地区では、いろいろなサークルや団体が活動しています。
シリーズ3回目は、三小JBCで～す。



三小JBCです
こんにちは、三小JBCです。私たちは、新津第二小学校に通う子ども達が集まってミニバスケットボールをがんばっている団体です。
現在、男子十一人、女子四人と、ちょっと少なめですが、週に三回練習しています。練習日は、火曜、木曜の十八時から二十時までと、土曜の九時から十二時までです。
最近、梅雨も明けて、毎日暑い日が続きますが、子ども達は、暑さも吹き飛ばすほどのパワーで、毎回練習に励んでいます。そして、各種大会などで、日頃の練習の成果を発揮しています。
常時、メンバー募集中!!です。興味のある子ども達も、ぜひ一度練習を覗きに来てみて下さい!!
待っています!!

平成23年度 新津西部コミュニティ推進協議会予算

平成23年 4月 1日～平成24年 3月31日

【収入の部】

科目	前年度予算額	本年度予算額	比較	摘要
前年度繰越金	968,083	869,745	-98,338	
会費	1,950,000	2,100,000	150,000	500円×4,200世帯
活動収入金	1,450,000	1,400,000	-50,000	地域活動支援金(古紙回収)
運営助成金	100,000	100,000	0	
事業補助金	200,000	200,000	0	
雑収入	1,917	255	-1,662	預金利息等
合計	4,670,000	4,670,000	0	

【支出の部】

科目	前年度予算額	本年度予算額	比較	摘要
事務通信費	600,000	600,000	0	
備品費	100,000	100,000	0	
通信費	20,000	20,000	0	切手代・電話代他
印刷費	450,000	450,000	0	会報2回発行他
消耗品費	30,000	30,000	0	用紙代他
部会・事業費	3,090,000	3,180,000	90,000	
総務	150,000	120,000	-30,000	
教育	300,000	300,000	0	賽の神、農作業体験
福祉	150,000	120,000	-30,000	
環境・安心	150,000	120,000	-30,000	
地域活動推進費	2,340,000	2,520,000	180,000	
研修費	30,000	30,000	0	
役員手当	220,000	250,000	30,000	
会議費	126,000	126,000	0	
交通費	50,000	50,000	0	
特別会計へ	300,000	300,000	0	
予備費	254,000	134,000	-120,000	
合計	4,670,000	4,670,000	0	

平成23年度 新津西部コミュニティ推進協議会組織図

役員			
顧問	齋藤 一保	山谷町 2	
会長	蓮沼 美宣	山谷町 3	
副会長	(環境安心部担当)	保科 絹枝	美幸町(秋葉区自治協議会委員)
	(総務部担当)	山口 忠郎	古田 2
	(福祉部担当)	井浦 博之	美善 2
	(教育部担当)	小菅 忠行	山谷町 2(青少年健全育成会会長)
事務局 長	齋藤 靖	山谷町 2	
会 計	笠原 悦雄	北上新田	
会 計 監 査	森田 昭司	山谷町 1	
	木下内キヨ子	南町	

町名	地域委員	運営委員			
		総務部会	教育部会	福祉部会	環境安心部会
新津緑町	坂井 雅雄	—	佐藤 浩幸	—	—
新栄町	佐藤 忠春	佐々木 敦	真島 清	山田 和宏	清野 一雄
		渡邊 敏	—	—	—
南町1区	樋口 勝造	—	—	樋口 勝造	—
南町2区	宮崎 幸司	—	赤塚 誠也	—	吉岡 孝
山谷町1丁目	森田 昭司	岩淵富士男	山田 フサ	矢部 幸衛	—
山谷町2・3丁目	原田 吉雄	鈴木 伸枝	小股 秀男	斉藤 文吉	刈屋 清司
		大竹 智	高橋 満	—	—
古田	鈴木 璋	石津 信男	阿部 英司	本間 良晴	石津 俊二
		佐藤 康一	—	中野 達彦	—
天神	田辺 忠一	—	—	小林 栄一	—
美幸町	保科 絹枝	三浦 節子	菅田 厚志	菅原トヨ子	山本 忠二
		大山 恵子	—	—	山田 真紀
美善	佐々木克男	佐々木克男	吉田幸太郎	小田真士郎	伊藤 孝志
さつき野1丁目	小林 英一	—	小林 英一	—	川口 隆行
さつき野2・3丁目	江口 正樹	江口 正樹	—	村田 英樹	志田 正樹
北上新田	吉沢 義博	—	—	—	笠原富司男

※個人情報のため、住所・電話番号は掲載しておりません。また、お名前に誤字がございましたらお詫び申し上げます。

ごみ出し思考

さつき野二丁目 小林 英一

A、庭木の冬囲いに使った角材・竹等、枝葉・草。
 B、プラスチック製バケツ・植木鉢・オモチャ等、プラスチック製包装容器。
 C、ガラス片・カッターの刃・包丁等、有害・危険物。これらは、ごみステーションへ排出するごみであり、似ているようですが、ちがいます。
 Aについては、一定の長さで切り揃えて結束してもダメ、半透明の袋に入れてもダメ、正解は燃えるごみ袋に入れて排出。
 Bについては、プラスチック製品ではあるが、容器包装ではないのでダメ、正解は燃えるごみ袋に入れて排出。Cについては、危険ではあるが危険物ではないので、燃やさないごみ袋で排出。以上は今までの経験上まちがえやすいものを記しました。
 当町内では、これら違反ごみが出る、そのステーションを使う全戸へ文書で周知、排出者から引き取ってもらい、再排出し

てもらっています。会員相互の協力で違反ごみが減少し気持ち良く生活ができることを喜んでいきます。



集 記 編 後



バトンタッチ No.6



日頃の出来事や思うこと等を紹介しながら、地域の皆様の“つながりの輪”をひろげていくコーナーです。

祭囃子と子供たち

山谷町三丁目 石黒 利幸

毎年、七月になると町内の子供たちを集め、お祭りに向けた、お囃子の練習を小学校三年生くらいから、上は、中学三年生まで、時には、大人も一緒になって始めます。
 子供たちの上達は、とても早く、新津松阪、屋台囃子など二ヶ月もすれば立派な拍子方になり、その成果は新津松阪流しや、町内のお祭りで披露されます。練習では、お囃子だけではなく、挨拶や礼儀についても指導しています。普段は、横のつながりが多い中で、お祭りを通じて、大人と、子供が一

子育ても終わり、子供たちは皆成人して手が掛からなくなり、少し物足りない日々を送っていました。
 そんなある日、ふとした事から娘と同じ誕生日の子犬を飼うことに成りました。
 ミニチュアアダックスのマロンちゃんです。我が家に来た時は1・4kgとても小さく可愛かった！大人だけの家族の中に天使が舞い降りて来たような感じです。
 マロンが居るだけで、一つ

の部屋に家族が集り、笑い声が絶え間なく響きわたります。と思ったのはつかの間…二度目の子育ての始まりです。可愛いだけでは育てられません？ 躰の難しさを知りました。人間も動物も怒ってばかりではいけない、褒めてあげないと良い子には育たないのです。でも、甘やかすすぎてもいけません！
 七転八倒の毎日です。

緒になり一つの事を達成する喜びは、格別です。又、町内などで会ったときには、元気よく挨拶してくれるのは、とても嬉しいものです。時には、新潟を離れて、就職や進学した子などが、成人になり、お祭りで帰省して一緒にお酒を飲むなど世代を超えての交流が出来るなど、古き良き伝統を継承するとても大切な行事になっております。機会があれば、是非一度見に来てください。

次号は
古田二丁目 石津雅幸さんへ
バトンタッチします。



連絡先・事務局(山谷町三丁目三八一-一〇〇 蓮沼美宣)
 ☎〇二五〇一三三二四一八二

新津西部コミュニティ推進協議会の活動は新潟市からの補助金を受けています。